

学校業務改善 ガイドブック

～ 子どもとの関わりを豊かにするために ～



平成29年3月

横須賀市教育委員会

目 次

◆ 子どもと向き合う環境づくりのために

- 1 本ガイドブックを作成した経緯 ----- 1
- 2 本ガイドブックの活用にあたって ----- 2

◆ 改善につながる具体的な内容

- 会議の効率的な運営について ----- 3
- 教育課程編成の工夫について ----- 4
- イン트라ネットの活用について 1 ----- 5
- イン트라ネットの活用について 2 ① ----- 7
- イン트라ネットの活用について 2 ② ----- 9
- 定時退勤日の設定について ----- 11
- チームとなって子どもを育む学校について ----- 13
- スクールソーシャルワーカーの活用について ----- 14
- 巡回相談(学校スーパーバイザー)の活用について ----- 15
- 学校法律相談(弁護士)の活用について ----- 15
- 部活動指導の工夫について ----- 16

◆ 参考資料

- 1 学校徴収金 手引き ----- 17
- 2 平成 28 年度 学校教育支援職員 一覧表 ----- 19
- 3 タイムマネジメントの意識の向上へ ----- 22

◆ 学校業務改善検討会議について

- 1 構成員名簿 ----- 23
- 2 開催経過 ----- 23

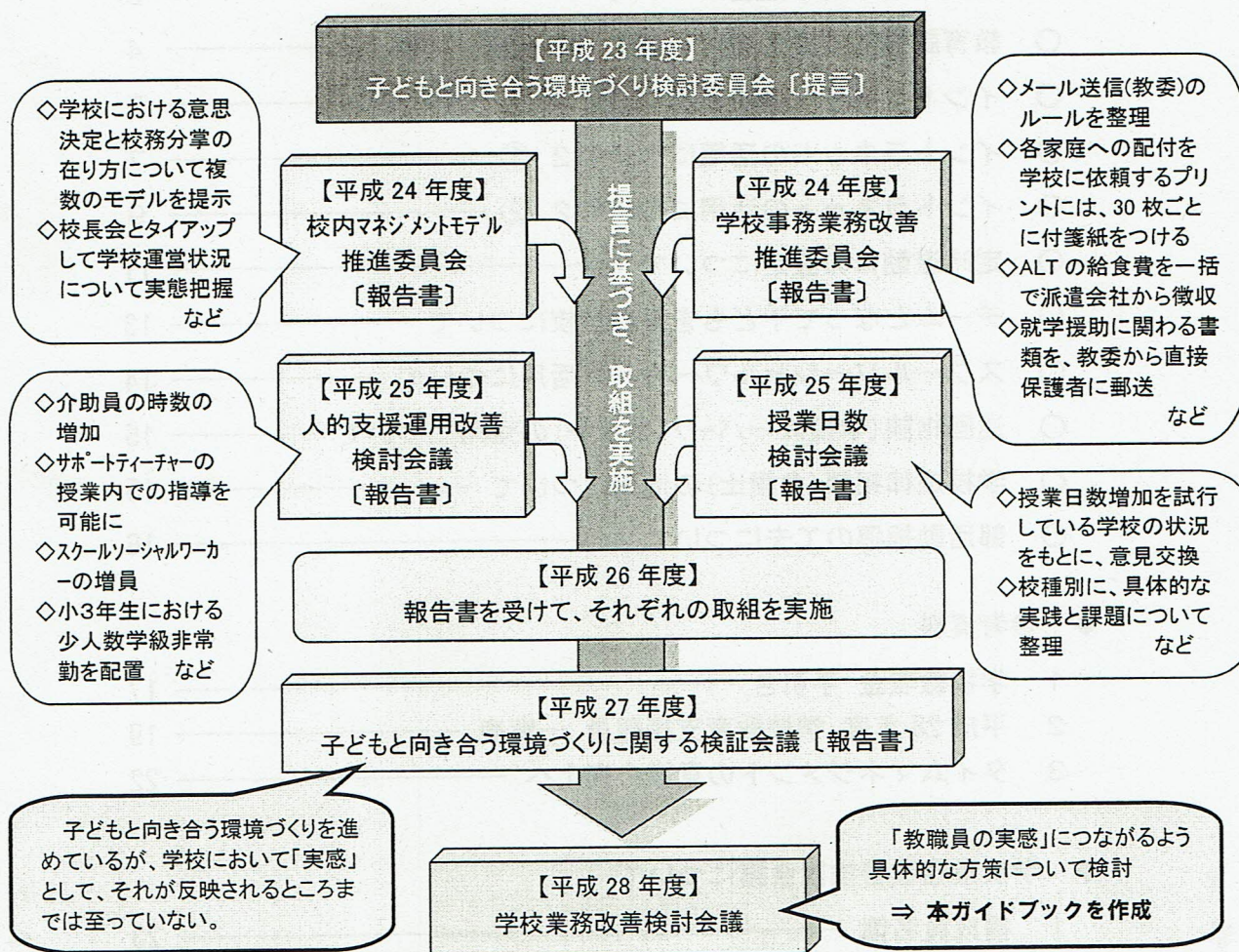
子どもと向き合う環境づくりのために

1 本ガイドブックを作成した経緯

平成 23 年度に設置した「子どもと向き合う環境づくり検討委員会」からの『提言』を受け、これまで、「子どもと向き合う環境づくり」に関するさまざまな取組を進めてきました。

平成 27 年度には、「子どもと向き合う環境づくりに関する検証会議」を開催し、これまでの取組について検証を行いました。その中で、「さまざまな取組を進めてきてはいるが、教職員の『実感』には結びついていない。」との意見がありました。

そこで、「子どもと向き合う環境づくり」に関する取組を、教職員の『実感』につなげていくことができるよう、「子どもと向き合う環境づくり」に対する教職員の理解を深めていくためのガイドブックとして、本冊子を作成しました。



※ 「子どもと向き合う環境づくり」とは、子どもとの関わりを豊かにするため、時間を生み出すことも含めて環境を整えることと捉えています。子どもとの関わりを豊かにするためには、子どもとの関わりを高めることが重要です。また、関わりを高めるためには、そのための準備の時間も必要となり、時間を生み出すとともに、時間をどのように使うのかということも重要となります。そこで、「子どもと向き合う環境づくり」においては、時間を生み出すための環境整備とともに、教職員一人一人が限られた時間を上手に使うためのタイムマネジメントに関する意識を高めていくことも重要となります。

2 本ガイドブックの活用にあたって

本ガイドブックには、子どもとの関わりを豊かにするために、時間を生み出すための役立つ情報や実践例などを掲載しています。

検討会議の中では、「良いアイデアを紹介することは大切だが、このことを通して教職員にタイムマネジメントの意識を高めてもらうことが重要である。」との意見がありました。

職員会議や学年会など、「複数の教職員が関係する時間」は、「みんなの時間」であることをお互いに意識し、短い時間で質の高い話し合いができるように工夫することが大切です。そして、生み出した時間を教材研究も含めて、それぞれが「子どもとの関わりを豊かにするための時間」として活用していくことが重要となります。また、子どもとの関わりを豊かにするためには、教職員の心身の健康が欠かせません。ご自身がリフレッシュすることも、タイムマネジメントの中で大切にしてほしいと考えています。

学校におけるタイムマネジメントの意識向上につながるよう、本ガイドブックをご活用ください。

【参考】 検討会議の中での意見

学校の仕事は、子どもに関わることなので、終わりのない仕事ではあるが、時間に区切りをつけて、その中で、質の高い仕事をしていくという意識が大切であると考えています。 [校長]

授業はもちろんですが、教材研究、部活動(中学校)、突発的な対応など、学校には、さまざまな仕事があります。その中で、仕事に優先順位をつけて、取り組んでいくことが大切です。そのためには、「タイムマネジメント」の力を身に付けていくことが重要であると考えています。 [教頭]

事務職員も、学校において、「子どものために」という視点を大切にしなければいけないと思っています。校長の教育方針を把握しながら、子どもを見て、学校運営に関わっていくことが大切だと思っています。 [事務職員]

会議の効率的な運営について

会議は、全教職員が共通理解を図り、学校を運営していくための大切な時間です。しかし、時間には限りがあります。限られた時間を上手に使うためには、みんなで協力し、工夫していくことが重要になります。

議題に対する分類を明記します。また、「協議」である場合は、検討する事項を明確にします。

○月 職員会議 次第

予定時間を明記し、提案者が、提案時間を意識することが大切です。

No	議題	分類	検討事項	予定時間	担当
①	○月行事予定	協議	日程の決定	5分	〇〇
	[重要事項] ・ブロックの学校と避難訓練を同じ日程に設定した。 ・昨年度の反省から、授業参観を今月に設定している。				
②	合同避難訓練	連絡	—	5分	〇〇
	[重要事項] ・避難場所および避難経路の確認 ・事前および事後の指導事項の確認				
③	[重要事項]				
	[重要事項]				

議題における重要事項を明記します。「協議」におけるポイントや「連絡」における確認事項などを示し、話し合いや説明の焦点化を図ります。

※ 事前に資料を読んでいることを前提として、会議を進めます。

会議の効率化において、グループ制が機能していることも重要なポイントです。学校の規模にもよりますが、グループのメンバーが重複していないことも大きな要因となります。また、資料提出の日程、配付の流れを明確にしておくことも大切です。

- 資料を事前に配付できると時間の短縮につながります。資料の配付が難しい場合でも、話し合う事項が明記されている「次第」を配付することによって、会議時間の短縮につなげることができます。
- 提案者は、昨年度の会議記録、年度末反省などを読み返し、今年度は、何について重点的に話し合うのかを把握します。毎年、同じことが話し合われていないかを確認します。

教育課程編成の工夫について

本市では、学校が、子ども・家庭・地域の実態を踏まえて、創意ある教育課程の編成の工夫ができるよう、授業日数増加の取組を行っています。

※ 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童(生徒)に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色のある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。
 【学習指導要領 総則 教育課程編成の一般方針 抜粋】

- ◇ 入学した1年生が学校に少しずつ慣れることができるよう、4月の1か月間を4時間授業にしている小学校は多くありますが、この小学校では、授業日数増加により増えた授業時数を活用して、夏休み前まで、1年生において、4時間授業(クラス全体)を行っています。
- ◇ 5時間目に少人数での補習授業を行うことによって、子ども一人一人の理解を深め、日常の指導をよりきめ細やかに行うことができるようにしています。



1年1組 時間割 6/20(月)～6/24(金)

	月	火	水	木	金
1	国	算	国	国	算
2	道	体	生	体	国
3	算	国	音	算	図
4	音	生	特	書	図
5	[A]	[B]		[C]	

クラスの子どもたちを、A～Cの3つのグループに分けています。
 Aグループの子ども(10人程度)は、月曜日に5時間目があります。
 グループの子どもたちが、一緒に下校できるように、A～Cのグループは、地域別に編成されています。

- この小学校では、子どもたちの実態を踏まえ、入学時において、しっかりとした子ども理解と一人一人に応じたていねいな指導が必要であると考え、このような教育課程を編成しています。
- 学校として、「何を目標として、教育課程を編成したのか」を明確にすることが大切です。目標が明確になっていれば、その評価がしやすくなります。振り返りの中で、成果と課題を明らかにし、さらに教育課程の編成を工夫することができるようになります。

イントラネットの活用について 1

イントラネットは情報の宝庫です。どのページに、どのような内容が掲載されているのかを知ると、これから準備をしようと計画している業務に役立つ情報が得やすくなります。そのことによって、時間を上手に使えるようになります。

① 横須賀の実践

Yokosuka Education LABO System

横須賀の実践 各研究会より 教育委員会より 便利帳

横須賀市教育課程研究会

① 横須賀の実践

各研究会より

- 学方向上の取組 (指導の工夫)
- ICT活用事例
- 情報モラル関連資料
- 学校教育賞
- フロンティア研究発表
- 国語関連資料
- 教育研究所 国語室発表
- 横須賀の子ども
- 児童生活研究発表

教育課程研究会

指導資料

- 授業のユニバーサルデザイン
- 授業づくりの視点 (教科別・教科横断的)
- 英語・外国語活動

研究成果

- 研究会誌
- 長期研究員研究紀要

国語関連資料

- 学校国語室の情報
- 市立国語館の情報 (国語活動の学年資料)

横須賀の子ども

- 全国中学生創造ものづくり教育フェア

研究部

- 研究部室の研修室(国語)
- スモールネットワーク
- 国語教育センター
- 国語教育コーナー
- 国語教育研究部

©2004 横須賀市教育情報センター

「教育課程研究会」のページには、過去に提案された授業の指導案などが、教科や学年ごとに整理されています。

Yokosuka Education LABO System

横須賀市教育課程研究会

中学校

国語 社会 数学 理科

音楽 美術 体育 技術家庭 外国語

道徳 総合 特別活動 支援

小学校

1年 2年 3年 4年

5年 6年 支援 提案資料

©2004 横須賀市教育情報センター

② 各研究会より

Yokosuka Education LABO System

横須賀の実践 各研究会より 教育委員会より 便利帳

横須賀市教育課程研究会

② 各研究会より

各研究会より

- 横須賀市小学校教育研究会
- 横須賀市小学校教員会
- 横須賀市小学校国語研究会
- 横須賀市小学校算数研究会
- 横須賀市小学校理科研究会
- 横須賀市総合学習研究会
- 横須賀市小学校体育研究会
- 横須賀市中学校体育研究会
- 横須賀市情報教育研究会
- 横須賀市総合的な学習の時間研究会
- 横須賀市食育研究会
- 横須賀市、中学校音楽教育研究会
- 国語教育・小笠原外国語教育研究会
- 事務研究会
- 横須賀市小学校保健委員会
- 学校保健研究会 委員会連絡会

事務研究会

国語教育センター

国語教育コーナー

国語教育研究部

©2004 横須賀市教育情報センター

「事務研究会」のページには、事務職員の方々が作成した実用ソフトが掲載されています。

横須賀市公立学校事務研究会

Menu

- 協会案内
- 重要文書・実用ソフト
- お役立ち文書
- お問い合わせ
- お役立ちサイト集
- ホームページ
- 情報教育ホームページ

※このページを閲覧する上での注意事項が掲載されています。

ファイルのダウンロード方法はこちら

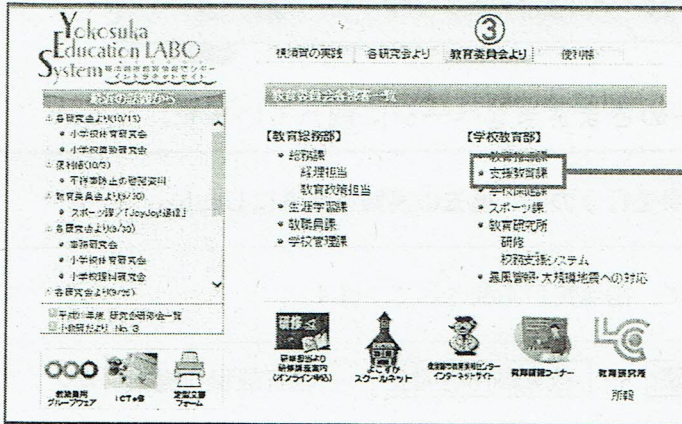
ince 2008.8.25~

定型文書

ホームページにおける実用ソフト公開に関するガイドライン

実用ソフト	ファイル名	対応ソフト	内容	最終更新日	ソフト担当者
児童経理関係					
児童経理ソフト2014	Eccc02007	児童経理作成	2016/4/11	佐 良典	
係数算入と修正方法Ver.1.1	ver42003				
給与・給費関係					
出賃金ソフト2014	Eccc02007		2016/4/11	佐 良典	
SC関係ソフト2014	Eccc02007		2016/4/11	橋 敏	
SC関係・研修旅行経理ソフト	Eccc02007		2016/9/14	前田 彩香	
非常勤勤務経理関係ソフト2014	Eccc02007		2016/1/28	橋 敏	
給与関係ソフト2014	Eccc02007		2014/6/10	今井 三恵	
一P印刷対応ソフト印刷ソフト	ver42007		2012/12/17		
給与関係ソフト2015	Eccc02007		2016/4/11	橋 敏	
授業と児童手当ソフト2012	Eccc02007		2012/10/16	山口 陽子	
協働ソフト2016関係	Eccc02007		2016/9/30	前田 佳織	
全体的ソフト2011	Eccc02007			橋 敏	
児童生活管理2012 ver.2	Eccc02007		2012/11/20	橋 敏	
協働の研修会管理2012 ver.2	Eccc02007		2014/1/22	今井 三恵	
人事関係関係					
非常勤関係ソフト2014	Eccc02007		2014/6/10	千石 佳栄	
協働関係ソフト2015	Eccc02007		2016/6/10	千石 佳栄	
協働関係ソフト2015	Eccc02007			山口 陽子	
協働関係ソフト2015	Eccc02007		2015/1/28	今井 三恵	
表彰関係ソフト2007.2	Eccc02003			今井 三恵	

③ 教育委員会より



「児童・生徒指導」のページには、いじめ問題の理解と対応について、教師が指導で大切にすべきことなどが掲載されています。

児童・生徒指導

◇出席停止措置について
出席停止要領
出席停止審査委員会設置要領
出席停止に関する意見書(第2号様式)
出席停止命令書(第3号様式)の2
出席停止命令書(第3号様式)の3

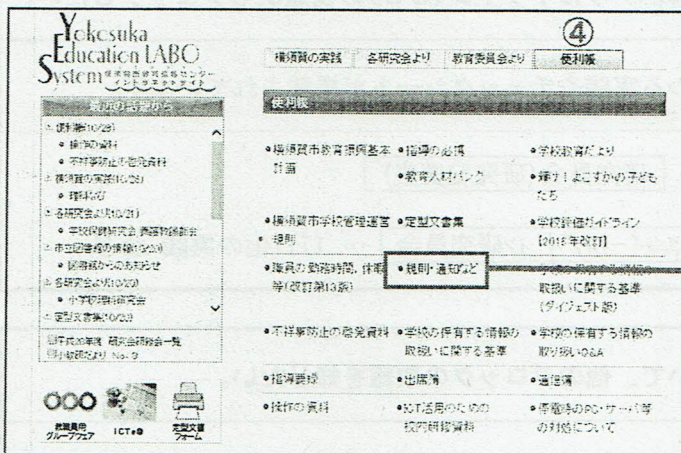
◇学校審判選考制度
協定書
審議要領
ガイドライン(平成26年9月8日更新)
保護者向けマニュアル

◇いじめ問題の理解と対応について
いじめ問題の理解と対応(平成26年9月8日更新)
母体の教師力指導マニュアル(Word)
「いじめていいか?」教師の気づきシート(Word)
学校生活アンケート(Word)

◇推進子どもスタンダード
よこすかケータイ・スマホ スタンダード 小学校用 中学校用

62001 横須賀市教育情報センター

④ 便利帳



「規則・通知など」のページには、今までに教育委員会から出された緊急時の対応の基準などが掲載されています。

規則・通知など

1 緊急時対応

内容	発行元
(1) 風警報発令時 暴風警報発令時等における関係児童生徒の安全確保の要領について【改定版】 暴風警報発令時等における学校給食(小学校・ろう学校の取扱い) 暴風警報発令時等における学校給食の取扱い(通知) 台風など緊急に休校とする場合の給食用物資の取扱いマニュアル	教育指導課 学校給食会 学校給食会
(2) 市教委報告関係 新型コロナウイルス(臨時休業措置)通知	発行元 教育長
(3) 児童生徒指導上の緊急時対応 ＜出席停止措置について＞ 出席停止要領 出席停止審査委員会設置要領 ＜学校審判選考制度＞ 協定書 審議要領 ガイドライン 保護者向けマニュアル	発行元 教育長 支操教育課 支操教育課 支操教育課 支操教育課 支操教育課 支操教育課

- イン트라ネットは、「横須賀の実践」「各研究会より」「教育委員会より」「便利帳」の4つのページで構成されており、市内の教職員のすぐれた実践などがたくさん掲載されています。新しい業務に取り掛かるとき、ヒントになる内容を見つけることができます。
- イン트라ネットは、教職員が業務を行いやすくするためのツールとしての役割もあります。このような資料も掲載してほしいというものがありませんでしたら、各担当課にご相談ください。

イントラネットの活用について 2 ①

調べたい内容は、イントラネットのさまざまなページに載っています。

こんなことをやりたい ①	校内研究で研究授業を行うので、過去の実践を参考にしたい。
このページに載っています	さまざまなページに、指導案が掲載されています。
	(1) 横須賀の実践 → 教育課程研究会 … 教育課程の提案 など
	(2) 横須賀の実践 → 学習指導案集 … 各学校の実践 など
	(3) 各研究会より → 小学校国語研究会 … 研究会の実践 など
こんなことをやりたい ②	自分の授業を、ユニバーサルデザイン(UD)の視点からチェックしたい。
このページに載っています	授業のUD化に関わる実践やチェックシートが掲載されています。
	横須賀の実践 → 研究会(研究紀要集)
	→ 授業におけるユニバーサルデザイン研究会 … UD化の実践 など
こんなことをやりたい ③	小中一貫教育において、他のブロックの取組を知りたい。
このページに載っています	全 23 中学校ブロックの全体構想図が掲載されています。
	教育委員会より → 教育指導課 → 小中一貫教育
	→ 追浜中ブロック … 全体構想図、ブロック行事予定表の様式 など
こんなことをやりたい ④	「携帯電話やスマートフォン」の使用について指導したい。
このページに載っています	よこすか ケータイ・スマホ スタンドアードが掲載されています。
	教育委員会より → 支援教育課 → 児童生徒指導
	… 横須賀子どもスタンダードやいじめ問題の理解と対応について など